

令和4年度第二回産業衛生技術部会拡大幹事会 資料

日時： 令和4年(2022年)9月30日(金) 12:15~13:15

場所： 札幌コンベンションセンター 201会議室 およびZOOMでのオンライン開催

添付資料

- 1) 令和4年度第一回産業衛生技術部会拡大幹事会 議事録(案)
- 2) 2023年度事業計画(案)
- 3) 2023年度重点活動項目報告(案)
- 4) 2023年度予算書(案1, 案2)
- 5) OHTA教育資料翻訳の進め方(案)
- 6) 国大協から日本産業衛生学会への要請

議事(案)

1. 前回議事録の確認
2. 2023年度事業計画

(1) 第96回学会(宇都宮)における部会主催行事(案)

① 学会シンポジウム(産業衛生技術部会主催)

テーマ：社内外の産業衛生技術専門家の「自律的な化学物質管理」～オキュパイショナルハイジニストから見た実務/指導/助言・課題・展望～

座長：津田洋子(帝京大), 土肥誠太郎(三井化学)

- 1) 製造業の内部担当者としての実務と展望(森分勝人, ENEOS)
- 2) 学校の内部担当者としての実務と展望(片山謙吾, 熊本大学)
- 3) 外部専門家としての実務と展望(奥田篤史, 富士清空工業所)

② 産業衛生技術フォーラム(騒音障害予防研究会との共催)

テーマ：これからの騒音障害予防対策について(仮題)

座長：永野千景(産業医大, 騒音障害予防研究会代表世話人), 中原浩彦(NAOSHコンサルティング)

- 1) 騒音障害防止ガイドライン改正：30年ぶりの改正, 改正の目的や概要の解説(井上仁郎)
- 2) 騒音の実態：

- ・国内の騒音曝露の実態紹介(佐々木直子, 佐々木労働衛生コンサルタント事務所)
- ・旧ガイドラインに基づく騒音対策の実施状況(永野千景, 産業医大)

- 3) 化学物質による不可逆性難聴(森岡郁晴, 和歌山県立医大)

- 4) 今後の騒音障害防止管理について(中原浩彦, NAOSHコンサルティング)

③ 総会

④ 拡大幹事会(ハイブリッド)

(2) 第33回全国協議会(甲府)における部会主催行事(案)

① 産業衛生技術シンポジウム

テーマ：経皮吸収に関する最近の動向(仮題)

② 産業衛生技術専門研修会

テーマ：北陸甲信越における衛生管理活動について(仮題)

※ 例年, 全国協議会における専門研修会は, 地元の衛生管理者等の活動報告をしていただいております。北陸甲信越地方会選出の幹事の先生方を中心に企画を検討していただくことは可能でしょうか?

③ 拡大幹事会(ハイブリッド)

3. 部会からの報告事項

(1) アジア産業衛生ネットワーク学会(ANOH)の団体会員登録について

- ・ 団体会員として加盟手続き済み。
- ・ 理事として中原浩彦副部長, セクレタリーとして持田伸幸氏(ENSOS)を登録。
- ・ 団体およびセクレタリー年会費を部会より支出予定。
- ・ 第6回ANOH学会(2022/9/19-23, インドネシア)に橋本, 飯田, 津田が参加(中原がオンラインにて理事就任挨拶)。橋本部会長が技術部会の参加を報告し, 歓迎を受けた。

(2) 化学物質管理に関する外部との協力について

(3) 国大協からの協力要請について（添付資料 6）

- ・ 国立大学協会（国大協）より、大学の化学物質リスク管理に関する計画に対して、日本産業衛生学会として参加要請。
- ・ 前向きに検討することで学会理事側の了解済み。
- ・ 但し、先方からの依頼であることから、学会側（部会側）の持ち出しにならないよう留意すべきとの意見あり。

4. 担当理事からの報告事項

5. 地方会からの報告事項

6. 検討事項

(1) OHTA 資料の翻訳作業の進め方について

- ・ OHTA 資料の翻訳については OHTA 側の了承済み。
- ・ 現在までに、初級教育一式（W201 Basic Principles in Occupational Hygiene Training Materials）の仮訳を NTT の AI 翻訳サービス（お試し期間中）にて試行済み。
- ・ 今後の進め方について協議していただきたい。
- ・ 機械翻訳（NTT の AI 翻訳）の契約（¥88,000/月・10ID）の是非についても併せて協議していただきたい。

(2) 予算残高の適正化について

- ・ 2021 年度の期末残高は 281 万円
- ・ 2022 年度の期末残高は現時点では 230 万円の見込み（AI 翻訳を 10～2 月に契約した場合）。
- ・ 2023 年度の期末残高は、AI 翻訳を年間契約した場合で 92 万円の見込み。
（予算見込み 290 万円 [うち本部より 60 万円]，支出 198 万円）
- ・ 2024 年度の予算見込み 152 万 [うち本部より 60 万円]
※ OHTA 翻訳にともなう AI 翻訳をいつまで契約するか？

(3) 部会員がメリットを感じられる活動について

- ・ 業務執行理事との意見交換会（7/30）において、「学会員，部会員がメリットとを感じる活動」の検討が求められている。
- ・ どのような活動が必要（または可能）か。
<企画運営委員会での意見>
- ・ 部会行事，地方会行事等の参加費を会員と非会員で差別化する。
- ・ 部会員専用の交流・議論スペースの提供（例：Facebook に部会員専用プライベートグループ）
- ・ 部会主催行事の資料について，全体公開（抄録）と，部会員限定公開（PPT，動画等）を分けて提供する。
- ・ OHTA の翻訳資料について，いずれは e-Learning を部会員限定として提供することを検討（翻訳資料自体は OHTA サイトにて無償公開が原則）。

(4) 今後の企画案について

- ・ 第 97 回学会（広島）
- ・ 第 34 回協議会（千葉）

7. その他

(1) 奨励賞候補者の推薦のお願い

(2) 大久保利晃産業保健研究奨励金の候補者について（×切：11/30）

(3) 酒井 CHS 振興財団「2023 年労働衛生研究助成」について（×切：11/30）

(4) その他